

第6回大阪府教育振興基本計画審議会

日 時：令和4年5月20日（金）10：00～

会 場：プリムローズ大阪 3階 高砂

次 第

1 開 会

2 議 事

ゲストスピーカーによるプレゼンテーション

- ・小中学校教育の現状と課題

大阪府都市教育長協議会 会長 箸尾谷 知也 氏

- ・地域に愛される公立高校

大阪府立日根野高等学校 校長 山本 好男 氏

- ・西成区における教育と福祉の連携の取組みについて

特定非営利活動法人子育て運動えん 代表理事 関口 淑枝 氏

3 閉 会

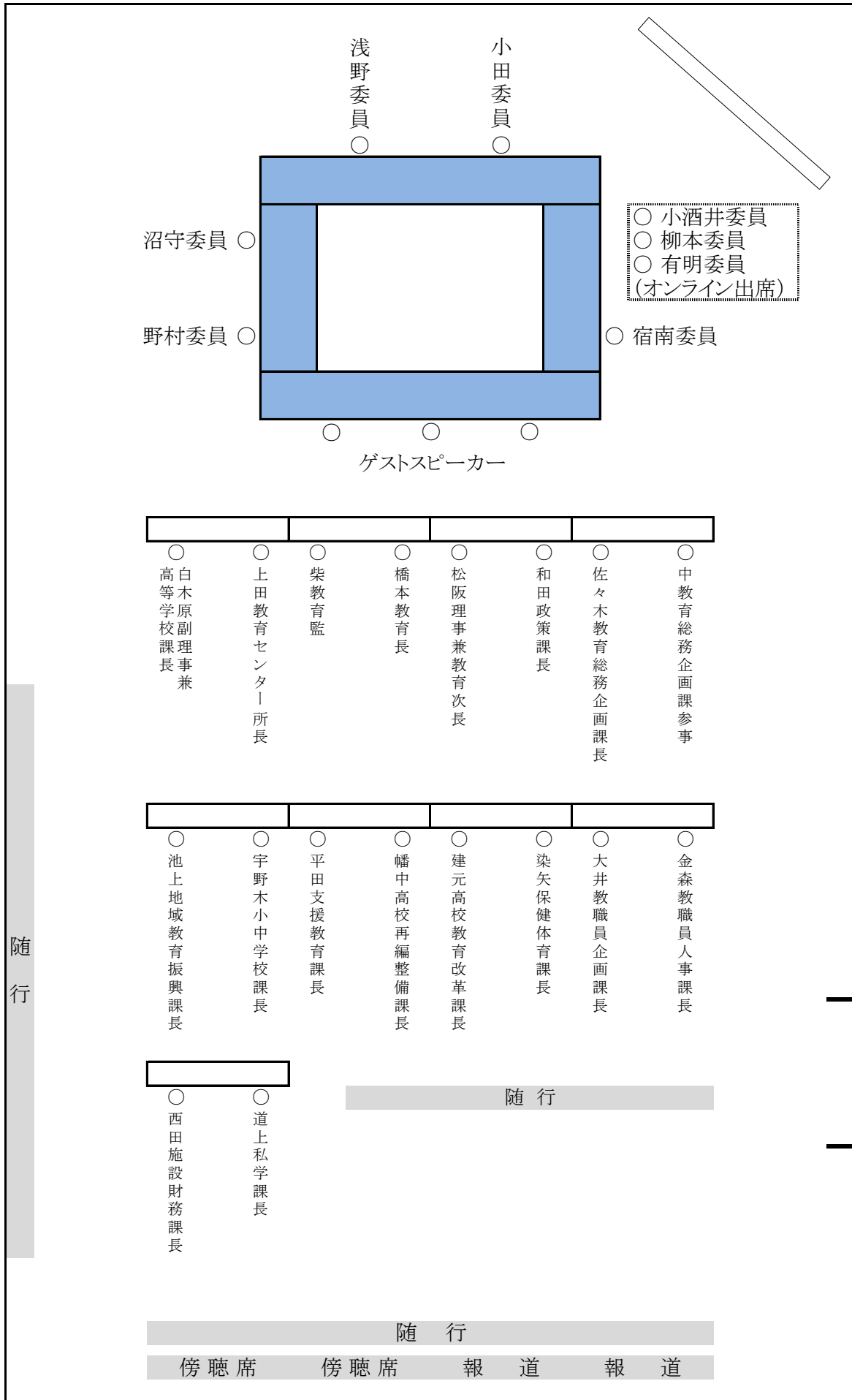
配付資料

- ・次第
- ・大阪府学校教育審議会委員名簿兼出席者名簿
- ・配席図
- ・第6回大阪府学校教育審議会 資料

大阪府教育振興基本計画審議会委員名簿兼出席者名簿

氏名	職名	分野	出欠	備考
浅野 良一	兵庫教育大学大学院 特任教授	学識経験者/ 教育学	出席	会長
小田 浩伸	大阪大谷大学 教育学部長	学識経験者/ 教育学	出席	会長代理
小酒井 正和	玉川大学 教授	学識経験者/ ICT	出席 (オンライン)	
沼守 誠也	大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 総務本部長	学識経験者/ 教育行政、私学	出席	
柳本 朋子	大阪教育大学 教授	学識経験者/教育学	出席 (オンライン)	
有明 三樹子	株式会社 りそな銀行 取締役	専門的知見を有する者/ 企業関係者	出席 (オンライン)	
宿南 洋一	大阪府PTA協議会 会長	専門的知見を有する者/ 保護者	出席	
野村 卓也	一般社団法人 ナレッジキャピタル総合プロデューサー 株式会社 スーパーステーション 代表取締役社長 内閣府 イノベーション推進担当政策参与	専門的知見を有する者/ 企業関係者	出席	

配席図



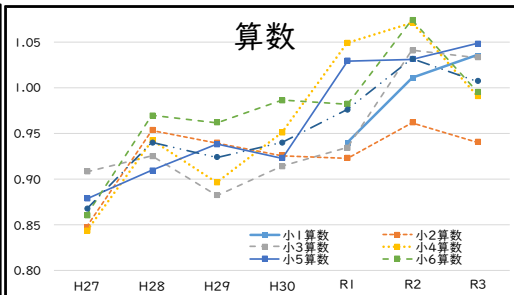
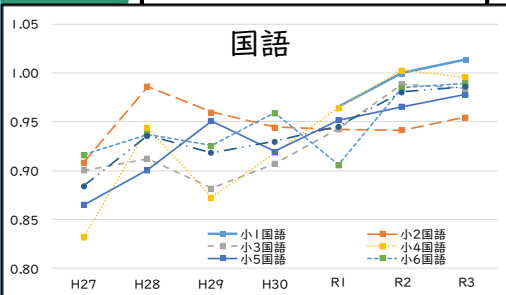
小中学校教育の 現状と課題

大阪府都市教育長協議会 会長
箸尾谷 知也

小中学校における 学力 の現状と課題 ~ 摂津市の例

現状

小学校 摂津市定着度調査



中学校 府チャレンジテスト

H26			H29			R2		
国語	1年	3年	国語	1年	3年	国語	1年	3年

取組み

教員の意識改革 (『点数にもこだわる』意識や当事者意識、授業改善への意欲の向上)

- ◇小中学校全学年で学力調査(国、府、市)を実施
- ◇教育委員による学校経営計画ヒアリング、教委事務局による学力向上計画ヒアリング
- ◇管外視察と全教員研修会での成果共有
- ◇全小中学校で研究発表会の実施やYoutubeチャンネルを活用して指導方法等を共有

児童生徒の意識改革

- ◇児童生徒の自尊心を高める (「価値語」の取組み)

課題

- ◆近年、学力は向上傾向にあるものの、伸びが鈍化している。
- ◆「学校以外で学習を全くしない」割合 (R3全国学力・学習状況調査)
小学校で7.4% (全国3.5%)、中学校で7.6% (全国3.5%)

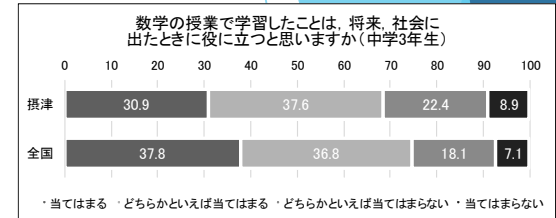
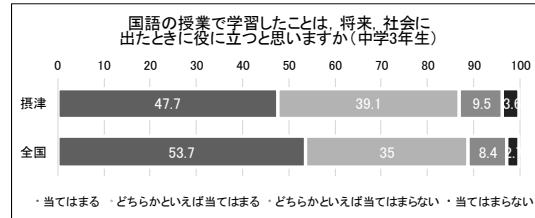
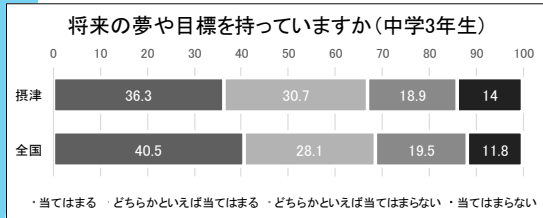
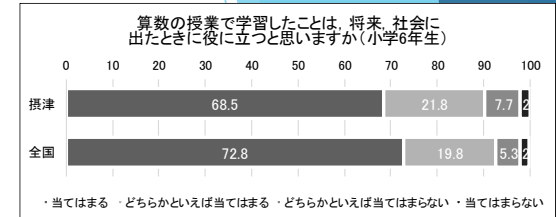
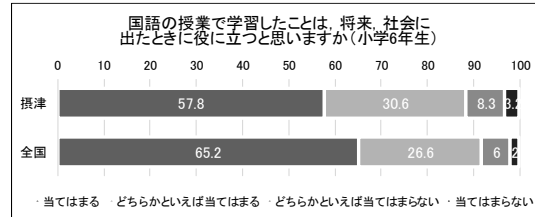
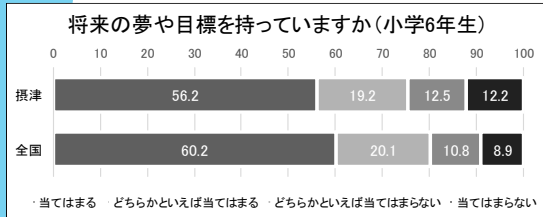
今後の方向性

- ICT機器を活用した児童生徒一人ひとりの課題に応じた個別最適化された学びを実施
- 教室の枠を超え社会との繋がりをもつ協働的な学びをめざした職種体験プログラムを実施し、児童生徒に「何のために学ぶのか」を意識させ、学習意欲の向上を図る。

キャリア教育について

現状

R3全国学力・学習状況調査



課題

- ◆全国に比べ『将来の夢や目標を持っている』と回答する割合が少なく、『学びが将来に役立つ』という意識も低い

摂津市の取組み

職種体験プログラム

- ◇「なぜ学ぶのか」「何のために学ぶのか」を意識させるため、「学んだことを活用する」活動を通して「学びが役に立つ」ことを実感できる場を設定する
- ◇教員以外の大人とのコミュニケーションを図る機会を設定し、社会との繋がりを実感させる
- ◇企業等から提起された課題について生徒が問題解決を図る

今後の方向性

- 小中連携を充実させ、身近な先輩にあこがれる憧憬の意識を向上させる
- 子ども自身がより未来志向の社会的な課題設定ができるような探究的な学習を目指す

学校が担う防災機能

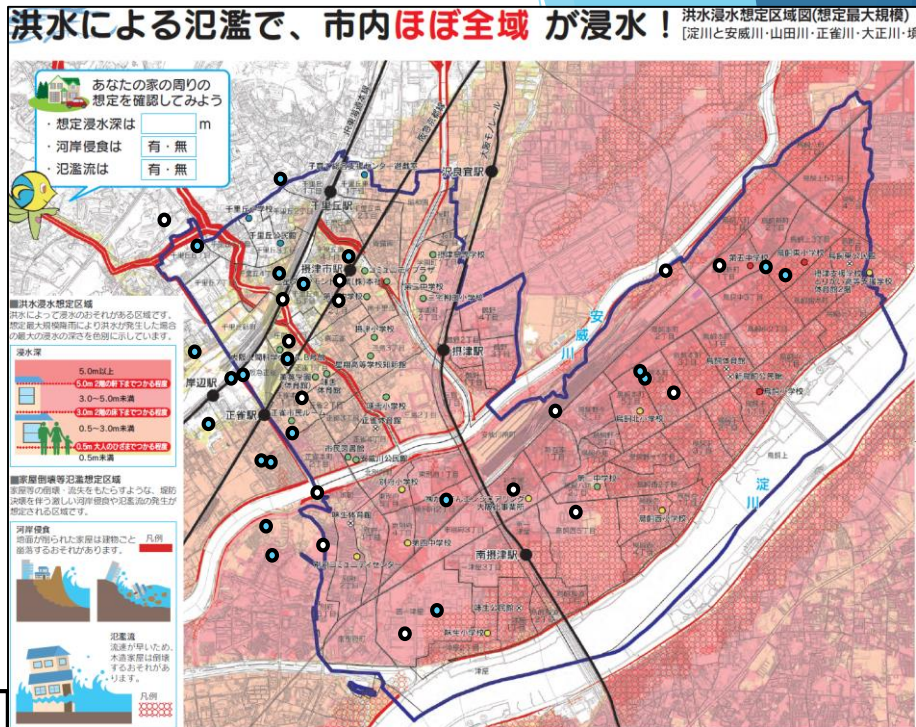
現状と課題

- ◆市内避難所等施設は36か所を指定内、学校体育館が15か所
- ◆避難所運営
4名×3交替×36施設=432名が必要
市職員657名（会計年度職員等除く）
- ◆浸水害の際は学校15か所中14か所で体育館が使えず、校舎上層階を想定
→運営必要人数が増加

対策

- 教員の避難所運営支援**が必要

摂津市防災ブック



教員不足・欠員の常態化

現状と課題

- ◆年度当初からの教員の欠員が常態化している
- ◆小規模市は加配数が確定しないと、講師採用を確定できない

対策

- 加配予定数を早期に決定通知する
- 産育休のための事前任用枠を増やす
- 教員の仕事の魅力発信や処遇改善**を図る

三島地区内の常勤講師欠員数（4月1日現在）

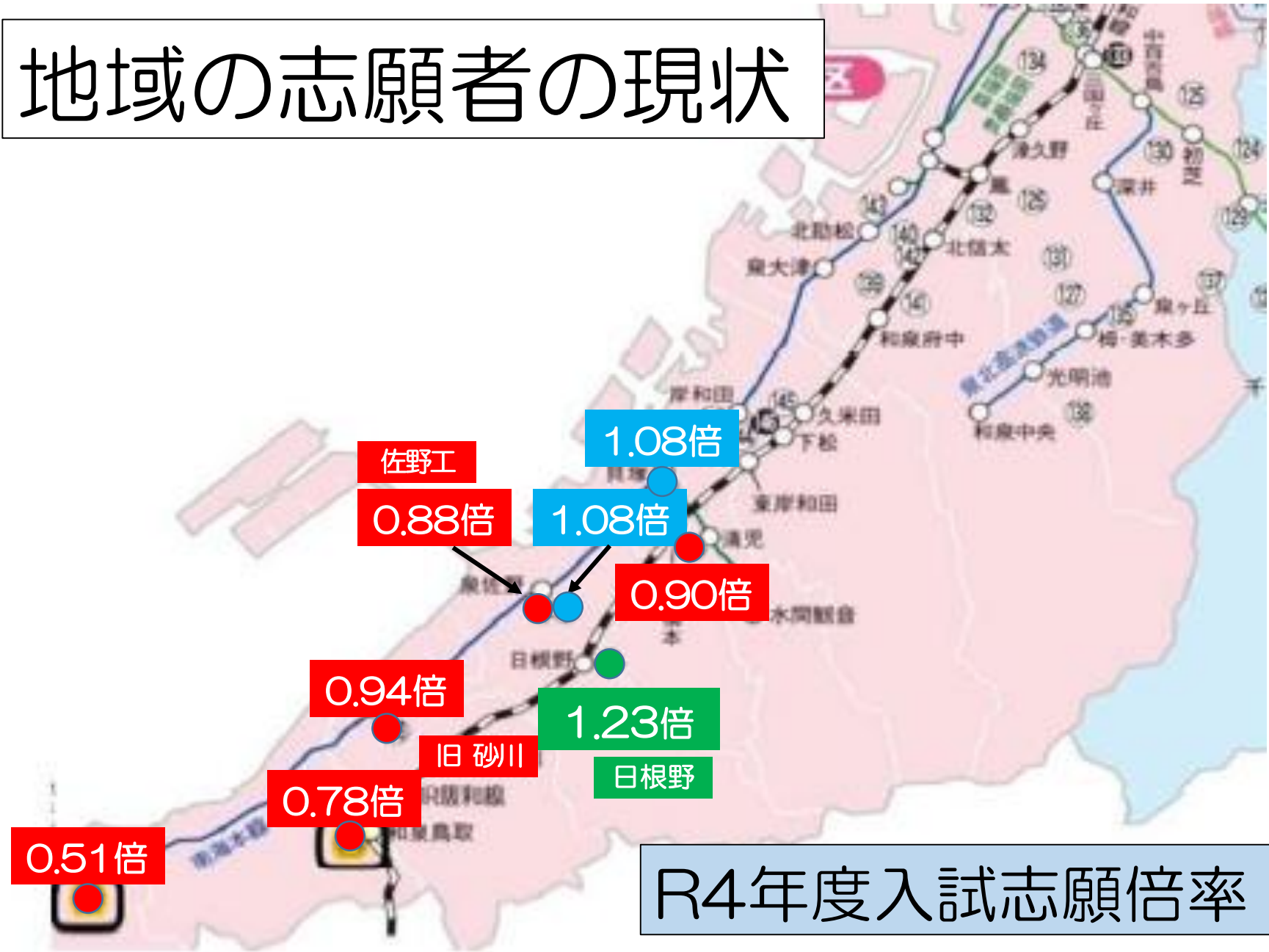
	小学校	中学校	合計
吹田市	9名	8名	17名
高槻市	1名	2名	3名
茨木市	8名	0名	8名
島本町	1名	3名	4名
摂津市	2名	0名	2名

おわり

地域に愛される 公立高校

大阪府立日根野高等学校
校長 山本 好男

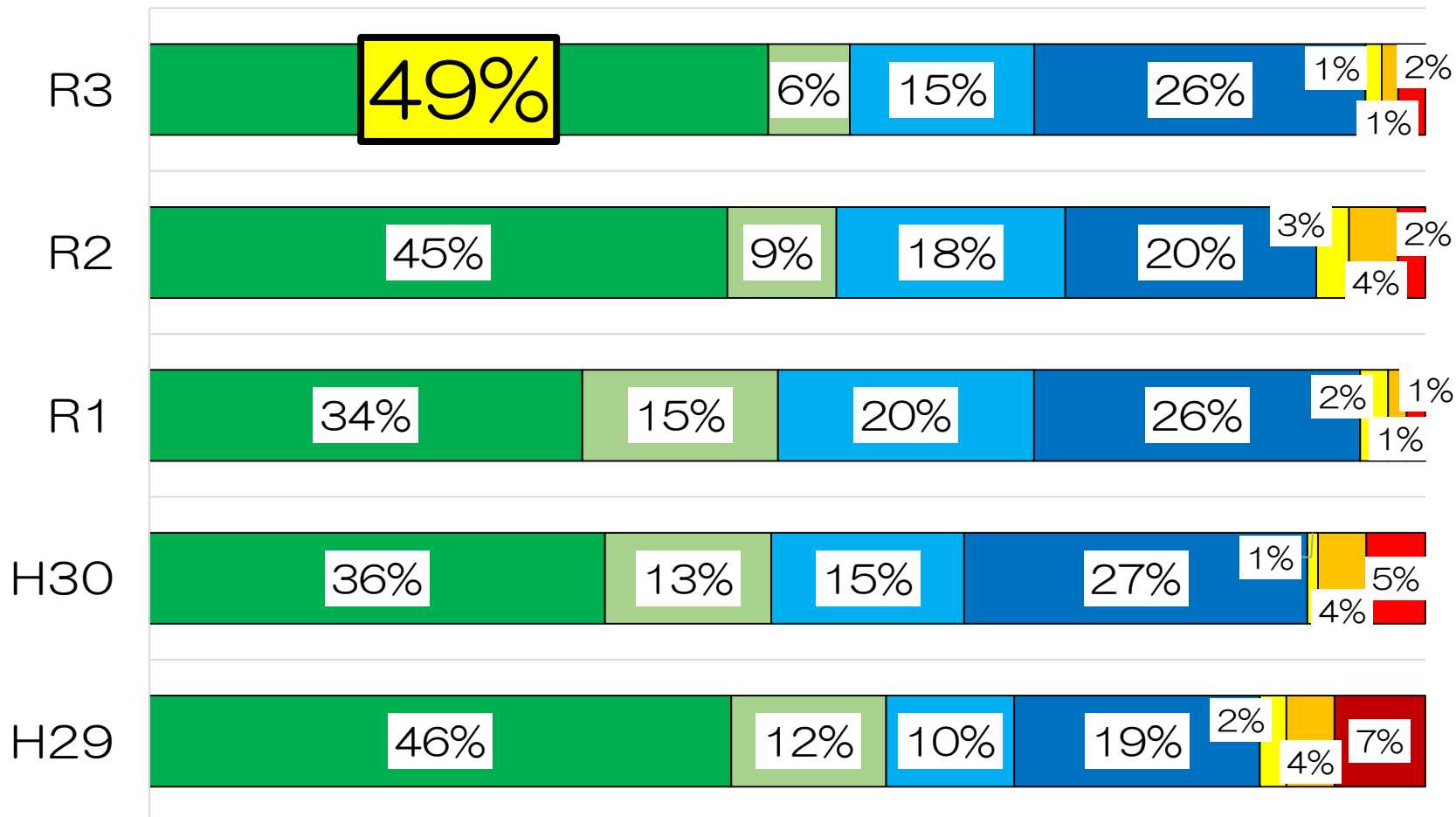
地域の志願者の現状



R4年度入試志願倍率

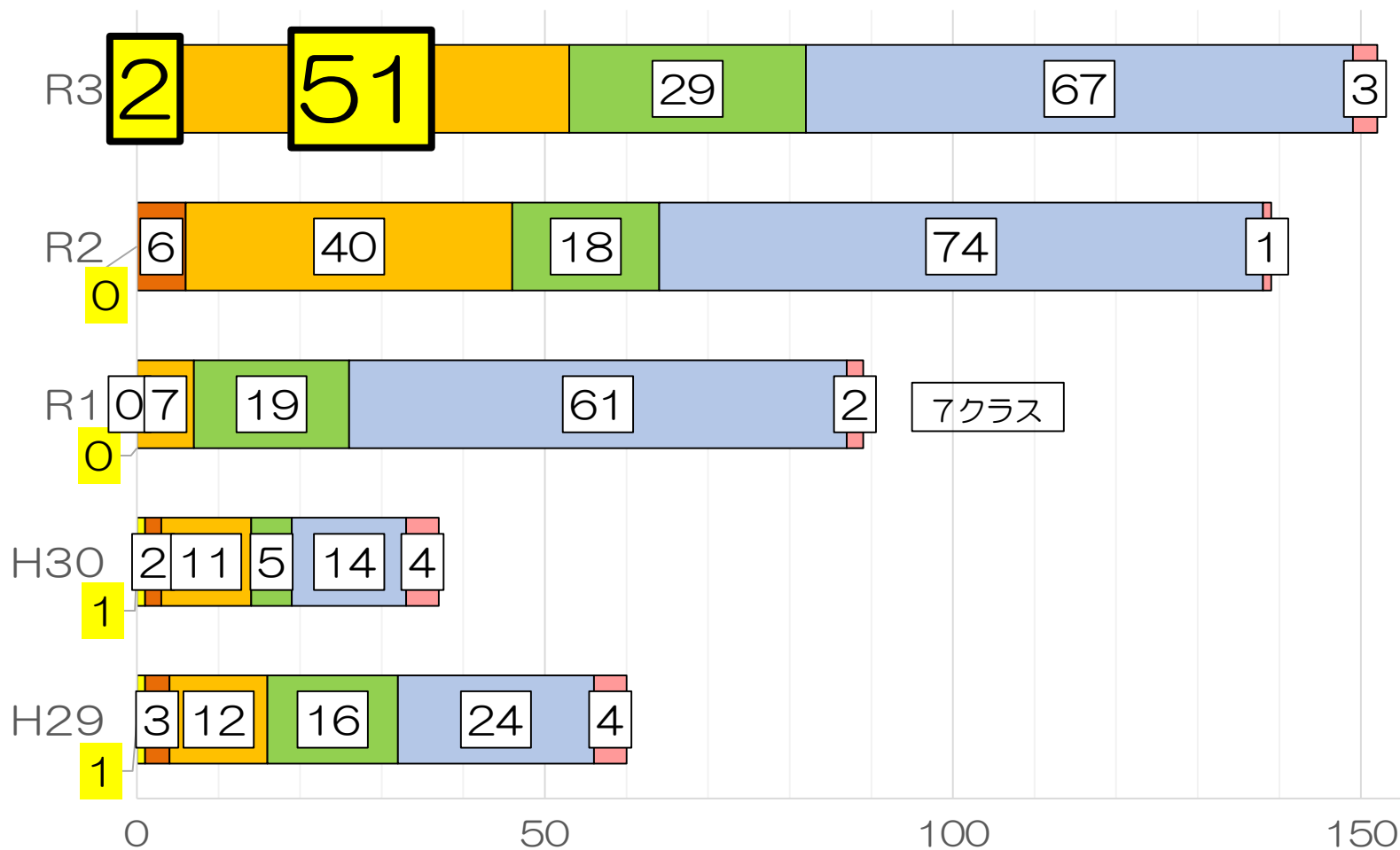
進路状況 ← 95%が進学

- 4年制大学
- 短期大学
- 医療看護専門
- その他専門
- 公務員
- 浪人
- 一般企業他

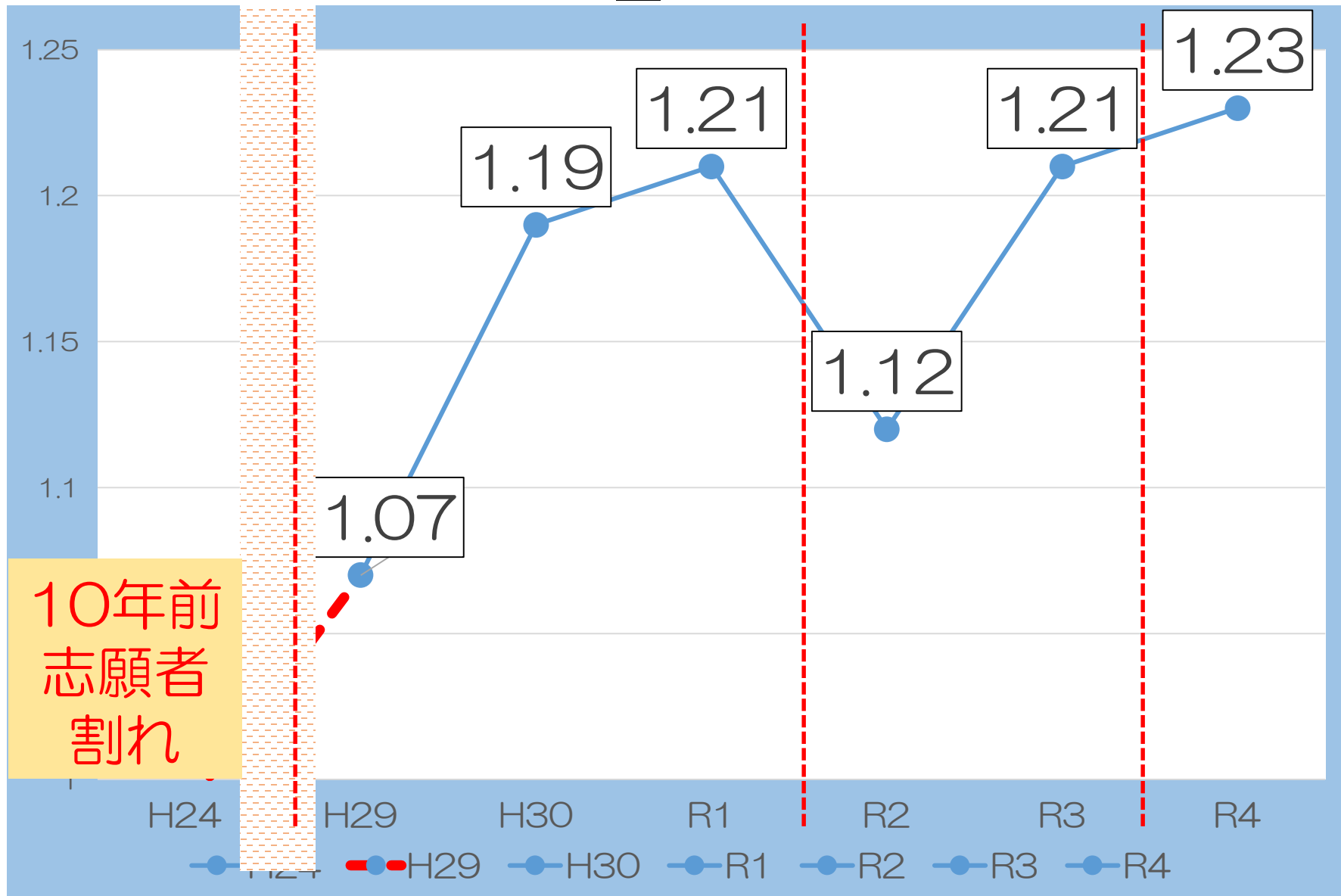


大学合格実績（延べ人数）

■ 国公立 ■ 関関同立 ■ 産近甲龍 ■ 外外経工佛 ■ 摂神追桃 ■ 四女子大



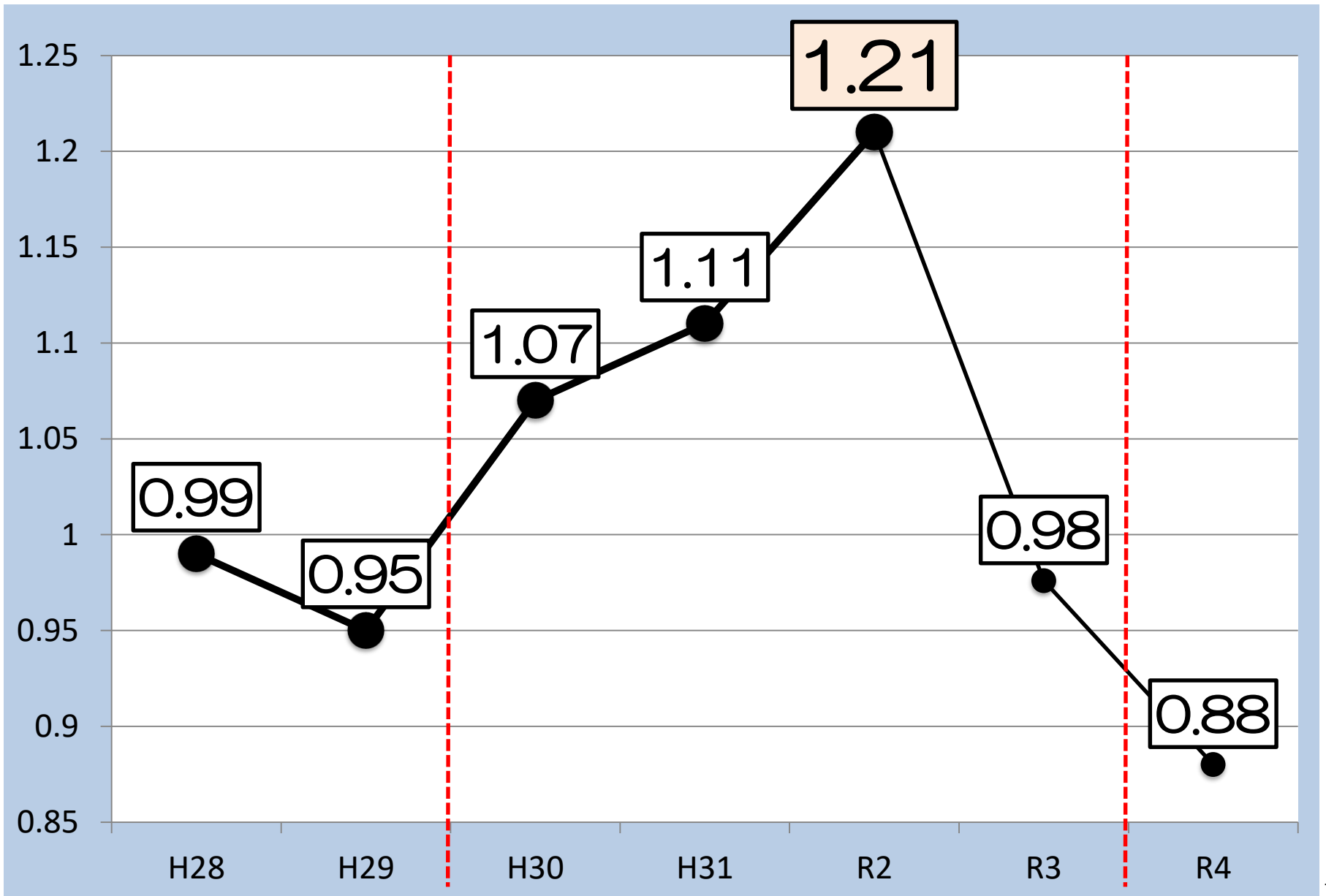
日根野高校_入試志願倍率



日根野_令和4年度入試 (倍率1.23)

学校名		中3 在籍数	R4 入学者数	R4 進学率	R3 入学者数	R3 進学率
泉佐野市立	A中学校	153	6	3.9%	3	2.0%
泉佐野市立	B中学校	151	25	16.6%	16	10.6%
泉佐野市立	C中学校	59	7	11.9%	6	10.2%
泉佐野市立	D中学校	210	10	4.8%	14	6.7%
泉佐野市立	E中学校	169	15	8.9%	14	8.3%
熊取町立	F中学校	146	14	9.6%	9	6.2%
熊取町立	G中学校	109	5	4.6%	8	7.3%
熊取町立	H中学校	165	15	9.1%	23	13.9%

佐野工科高校_入試志願倍率



佐野工科_令和2年度入試（倍率1.21）

学校名		中3 在籍数	R4 入学者 数	R4 進学率	R3 入学者 数	R3 進学率
泉佐野市立	A中学校	171	16	9.4%	29	17.0%
泉佐野市立	B中学校	166	9	5.4%	6	3.6%
泉佐野市立	C中学校	84	7	8.3%	10	11.9%
泉佐野市立	D中学校	252	17	6.7%	24	9.5%
泉佐野市立	E中学校	146	13	8.9%	13	8.9%

公立を志願する理由

※ 自宅から近い

- 自分の成績で行ける
- とりあえずあえず近い



〇〇で行きたい

消極的な
学校選び



ポジティブ
な高校選択

地域からの緩やかな追い風を どのようにして得るのか

特色

ストロングポイント（強み）

わかりやすさ

公立高校において極端な特色はない
（ほとんどの部分は同じ教育）

他校との違いをどう示すか？

- 地域にあった特色を創出する
- 特色を強みとして育て、発信する

強みをいかに作るか

わかりやすい強み

日根野高校

進路の見える化

- ・「医療・看護」 「保育・幼児教育」

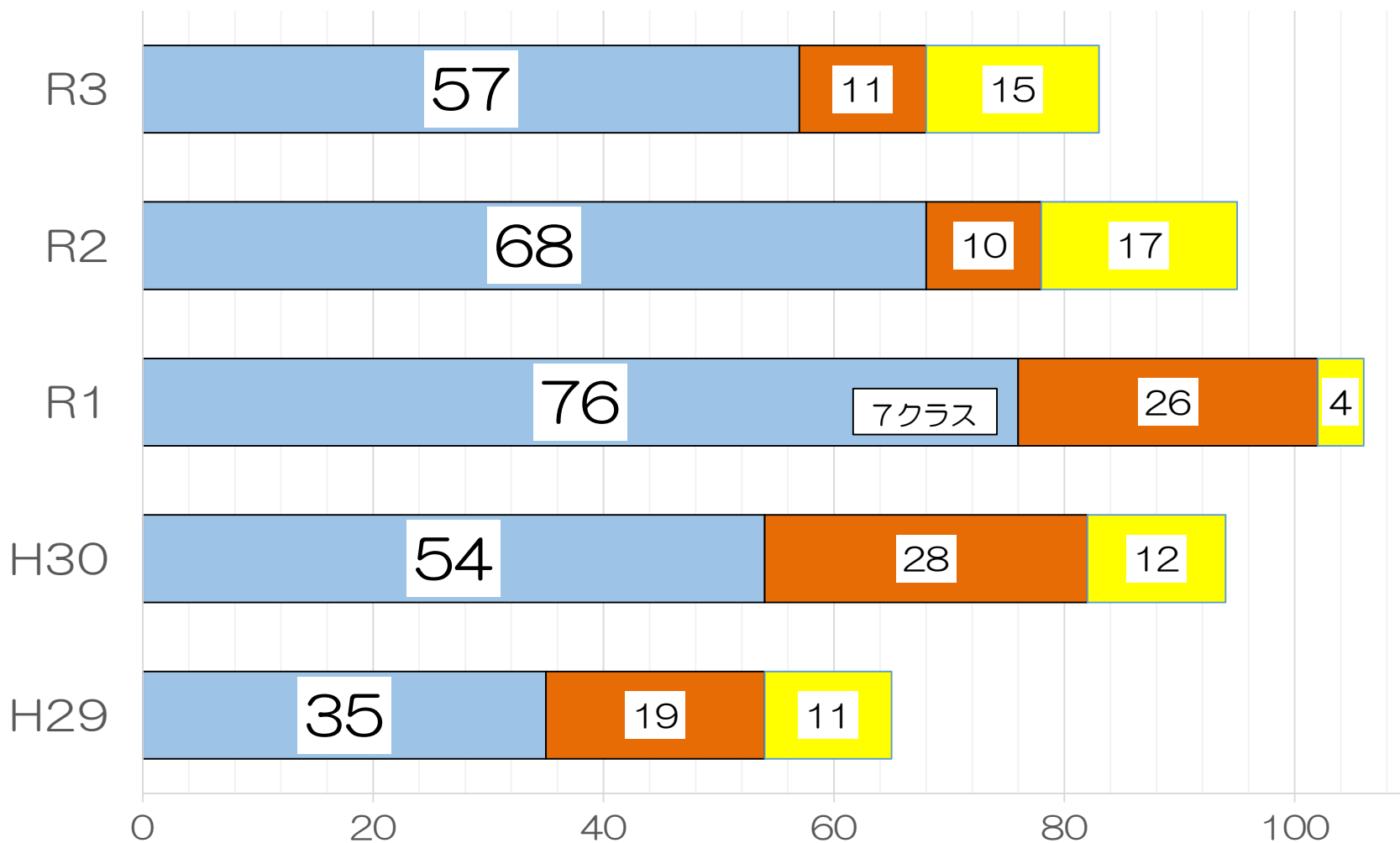
佐野工科高校

ものづくり教育

- ・「機械」 「電気・電子」 「デザイン」

コース別進路実績について（実人数）

■ 看護医療系 ■ 幼児保育系 ■ 難関大学（国公立・関関同立・産近甲龍）



強みをいかに地域とつなげるか

日根野高校

国際医療交流拠点としての泉佐野市

- 医療を支える人材の育成（看護師等）
- 看護師を支える人材の育成（保育士）



- 泉佐野市と連携協定
- コース制（看護メディカル・子どもみらい）

佐野工科高校

ものづくりで地域に貢献

- 商工会議所、駅、ショッピングモール etc

強みをいかに伝えるか

イメージ戦略

- ・なんとなくよさそうだと思わせる

Web

発信できるコンテンツの育成
・注目される実績作り

中学校

卒業生の活用
・成長した卒業生の姿を見せる

塾

学習塾に対する広報活動

弱みをいかに改善するか

弱点

ウィークポイント（弱み）

日根野高校

中途半端

進路実現への明確な意識化

- ・生徒に毎月意識調査を実施
- ・学習時間、志望校等の調査
- ・教員に生徒の状況把握の習慣化

ひねの
プログラム

佐野工科高校

自己肯定感の低さ

生徒一人ひとりを大切にする学び

- ・退学率の改善、支援体制の充実

進路意識調査_調査用紙

2022. 5. 12.

3年生 第2回 進路に関する意識調査

A. 将来の夢、または就きたい仕事を書いて下さい。(いくつでも可)

・
・

B. 卒業後の進路希望(目標)について、今のあなたの考えに近いもの(1-15)の番号を書いてください。

- 4年制大学
- 1. 国公立大学(和歌山大学)
 - 2. 国公立大学(その他)
 - 3. 私立大学(関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学)
 - 4. 私立大学(近畿大学・建武大学・京都産業大学・田原大学)
 - 5. 私立
 - 6. 私立
 - 7. 私立
- 短期大学
- 8. 幼児教育・保育系(大阪千里短期大学)
 - 9. その他(系)
- 専門学校
- 10. 造形・医療系(大阪労働造形・泉佐野美容師会造形など)
 - 11. その他(系)
- 就職
- 12. 一般企業(系)
 - 13. 公務員
 - 14. その他(系)
- 未定
- 15. 考えていない、わからない。

卒業後の進路希望

Bの答え
(1-15の番号)

C. 現在、目標としている希望進路先の具体的な志望校を書いて下さい。考え中の方はすべてを書いてください。

(例: ○○大学○○学部○○学科、○○短期大学○○学科、○○専門学校○○専攻(コース)、
公務員)

具体的な志望校

*現時点で考えているところ

*現時点で決めきれない人は

*就職や公務員を志望する人は希望職種を書いてください。

第一志望	大学/短大	学部	学科
第二志望	大学/短大	学部	学科
第三志望	大学/短大	学部	学科

D. あなたの先日の自宅学習時間(予習・復習・宿題を含む)は平均何時間でしたか?
平日、休日に分けて書いて下さい。(※記入方法: 1時間30分→1.5時間)

■平日(水)の自宅学習時間は?

5/11 1日平均 約 時間

(※休養期間は5/10)

■休日(土日)の自宅学習時間は?

5/7-8

自宅学習時間

E. 現在の所属クラブを書いてください

部

F. この1か月で、あなたが進路実現に向けて取り組んだことを具体的に書いてください。

例①英語教科書を6セット繰り返し読んだ結果、2年生までの単語はほぼ覚えることができた。

例②現在、英語2級取得のために取り組んでいる。

例③予備校にも通っている(英語と日本史)、等。

G. 次の1か月で、あなたが進路実現に向けて取り組もうと思うことを具体的に書いてください。

例①志望校の総合型選抜から一般選抜まで、すべての入試の方法を調べて把握したい。

例②第3志望校までのオープンキャンパスに参加したい。

例③入試の基礎力養成のため、共通テストの過去問に取り組む。

進路について
考えさせる

3年()組()番 氏名()

進路意識調査_集計表

将来の夢 就きたい仕事		希望進路先の具体名						国 教英	国 英	教 英	国	英	数	国 教英	国 英	教 英	国	英	数	進路希望	
将来の夢		第①希望	学部学科	第②希望	学部学科	第③希望	学部学科														
看護師		関西医療大学	保健看護	森ノ宮医療大学	看護			B3	B3	B2	C2	B2	B2	C2	C1	C1	C3	B3	C2	6	私立四大(医療系)
保育士		関西医療大学	保健看護	関西医科大学	看護	四天王寺大学	看護	D3	D3	D1	D3	D2	C2	C2	C1	C2	B3	C2	C1	6	私立四大(医療系)
管理栄養士		大阪総合保育大						C2	B3	C2	B3	B3	D3	C1	B3	C1	B3	C1	C1	8	短期大(幼児教育)
臨床検査技師		大阪樟蔭女子大	健康栄養	帝塚山学院大学	人間生活 管理栄養	羽衣国際大学	人間生活	B3	B2	B2	B3	B1	B3	C2	B3	C2	B2	C2	C3	7	私立四大(その他)
美容師	ネイリスト	清恵会医療専門 学院	放射線	大阪ハイテクノ ロジック専門	放射線	行岡医学技術専 門	放射線	C3	C3	C2	C2	D2	B3	C1	C2	C1	C1	C2	B2	10	専門学校(看護・医療)
税理士		関西医療大学	保健医療					C2	B3	C2	B3	C1	D1	C1	C1	C3	A3	D1	B3	6	私立四大(医療系)
警察官		大阪モード学園 専門						B3	B3	B2	B3	B3	B2	B3	C1	B3	B3	C1	B2	11	専門学校(その他)
		近畿大学						D1	C2	D1	C2	C2	D3	D3	D1	D2	C3	D2	D1	4	私立四大(慶近甲)
		公務員	警察官					D1	C3	D1	C2	D1	C3	D1	C3	C3	D1	C3	C3	13	教職(公務員)
		大阪芸術大学																			

具体的な志望校

スタディサポート結果

拡大

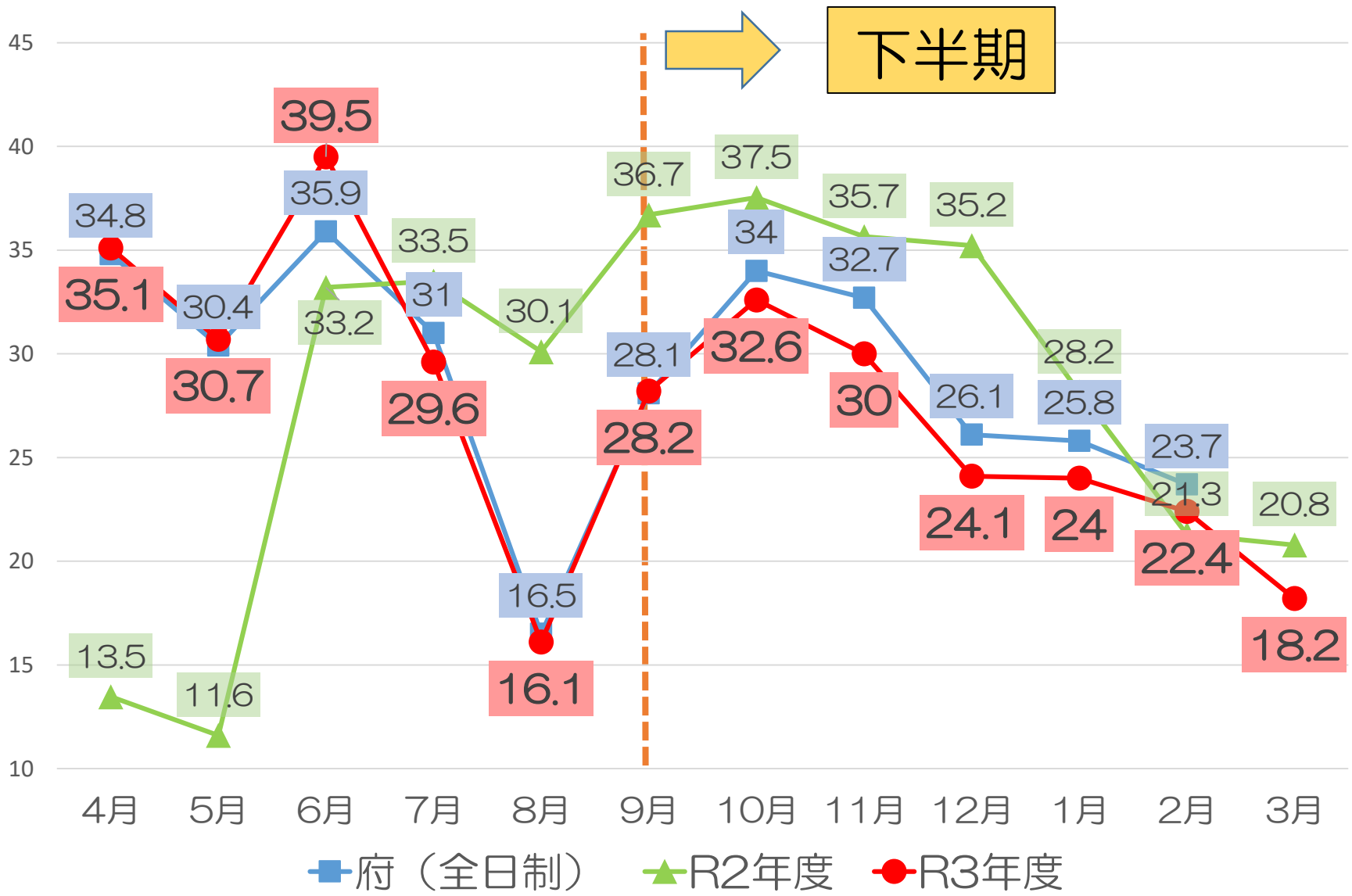
担任がそれを意識する

業務の電子化の一例

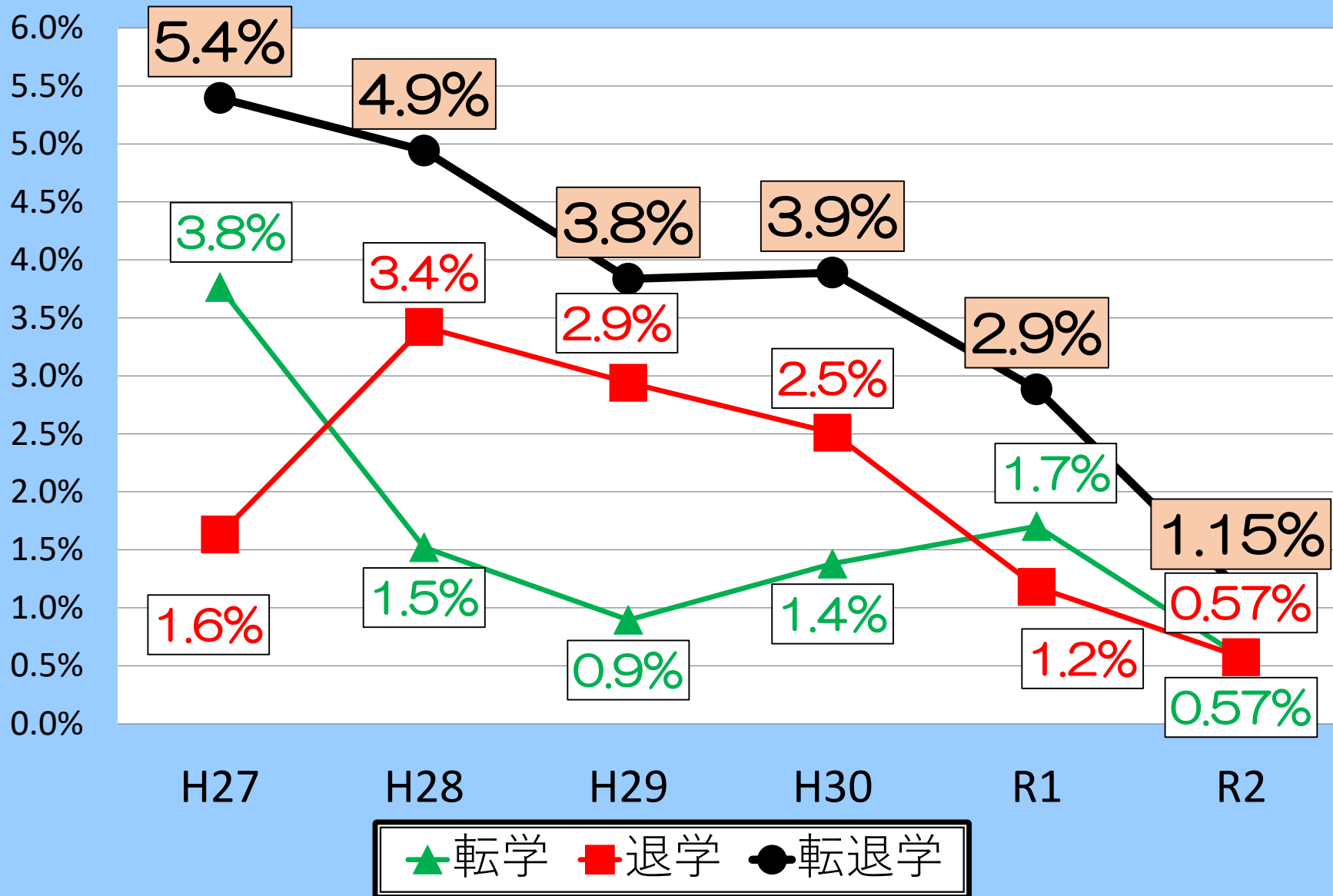
The image shows a digital calendar interface with three callout boxes highlighting meeting details:

- Top Callout Box (Morning Meeting):**
 - 朝の連絡会**
 - 5月2日(月曜日)・08:25~08:30
 - 毎週 平日, 2023年3月22日まで
 - 会議メモを使用
 - 新しいドキュメントを開始してメモをキャプチャ
 - 職員室
 - ※8時20分までに入力をお願いします
 - *全体: 5/6(金)は、職員室 標のメ切日です。
 - *校長: 5月はコンプライアンス強化月間です。添付した「セルフチェックシート」を用いて自己点検をしてください。
 - *教頭: 年休・出張・特勤等入力、本日メ切です。
 - *事務:
 - *首席: 担任の先生方へ。5月進路意識調査用紙をクラスBOXに入れています。調査日は5/12(体育祭延期時は5/10)です。
 - *教務: ①追認定に関するアンケートのご協力よろしくお願いいたします。
 - https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdy0XRK-eomNOjzMSaQak8GAE-KFfntwoPLrpUoyStbjyIP0oA/viewform?usp=sf_link
 - 5/6(金)メ切としていますので、なるべく本日で
- Middle Callout Box (Staff Meeting):**
 - 職員会議③**
 - 4月21日(木曜日)・15:45~16:45
 - 会議メモを使用
 - 新しいドキュメントを開始してメモをキャプチャ
 - 会議室
 - (正) 山口 (副) 眞弓 (記) 日光
 - 第3回職員会議レジュメ
- Right Callout Box (Survey Confirmation):**
 - 【5/6:10時メ切】追認定に関するアンケート**
 - 2022年4月21日~5月6日
 - 会議メモを使用
 - 新しいドキュメントを開始してメモをキャプチャ
 - 教務部より
 - 職員会議でも連絡した通り、今年度より、追認定に関する規定を変更したいと考えています。
 - それに関するアンケートのご協力よろしくお願いいたします。
 - 追認定に関するアンケート
 - https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdy0XRK-eomNOjzMSaQak8GAE-KFfntwoPLrpUoyStbjyIP0oA/viewform?usp=sf_link

教員時間外在校時間



佐野工科_転・退学率の推移



地域からの緩やかな追い風を どのようにして得るのか②

在校生、卒業生の評価

- 在学中の満足度を高める ⇒ 学校教育自己診断

保護者の評価

- PTA活動の活性化 ⇒ 教育、広報での協働

中学校教員の評価

- 中学校卒業生 ⇒ 成長の見える化

塾の評価

- 関係性の構築

まとめに（公立高校の方向性）

グローバルリーダースクール等

2極化



- 大阪府や国を背負う人材を育成する
- より特化した人材を育成する
- 進路実現に向けて切磋琢磨する

地域の公教育を担う高等学校



学区



- 地域で働く人材を育成する
- 地域の中学生が安心して通える
- 経済、通学面の負担が少なく誰でも通える
- 地域と密接につながる互恵関係

西成区における教育と福祉の連携の 取組みについて

～福祉の立場から教育に思うこと～

特定非営利活動法人子育て運動えん 代表理事 関口 淑枝
(わが町 にしなり子育てネット 事務局次長)

① 私たちの取組みについて(自己紹介)

【主な活動内容等】

- ・ 家庭訪問型子育て支援（伴奏型アウトリーチ）
はざまの見える化とはざまに入って一緒に動く
- ・ 子ども・若者居場所づくり（拠点型）

➡ 家庭や子どもたちのニーズから、必要なサポートを行っている。

（一方的ではない、一緒に動く）

➡ 子どもや家庭が回復していくために何が必要か。社会につなげる

②子どもたちと関わる中で思うこと（1）

- ・ **子どものけんり 子どもたちと一緒に**

- ➡子どもはどの子もみんな幸せに生きる権利がある

- ・ **なぜ“知る”ことが大切か**

- ➡持っていることを知らなければ、なくなっても気づかない

- ➡声をあげること（SOS）を出すことができない

②子どもたちと関わる中で思うこと（2）

- ・ **経験や体験する機会を得ることが難しい状況。**

- ➡子どもや家族にとって日常の営み。

- ➡いろいろなことをあきらめてしまっている。

- ・ **自分で選んで自分で決める**

- ➡安心して失敗ができる、何度でもチャレンジができる

- ➡してあげるではなく回復していく エンパワメント

③子どもたちと関わる中で思うこと（3）

・ 周囲が良かれと思い、

勝手に支援内容を定めてしまわない。

➡子どものことは子どもにきく

➡支援してあげなければならない、かわいそうな子ではない

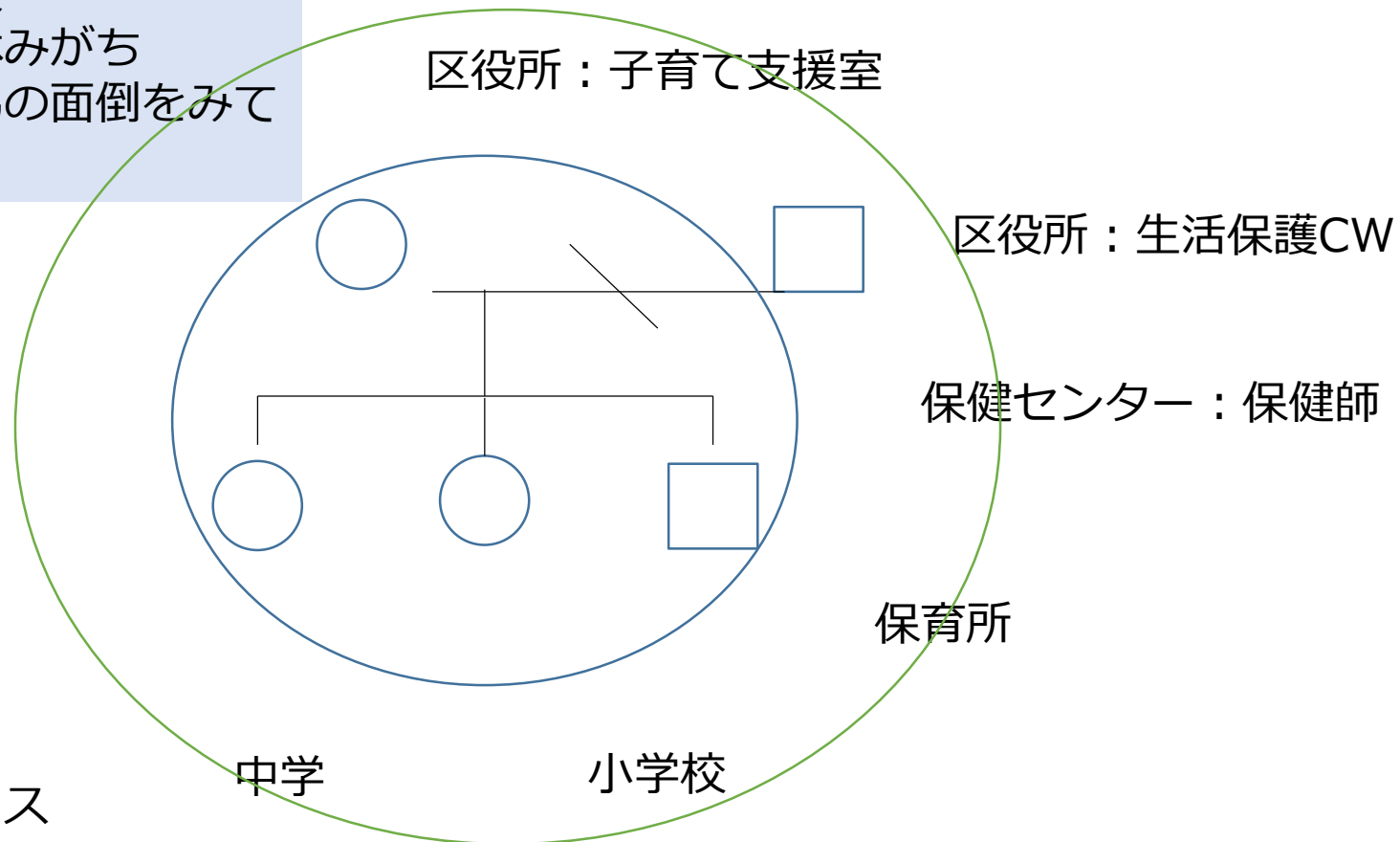
➡保護者へのマイナスイメージや否定はしないで

④ 私たちと学校との関わり(取組み事例)

学校からの相談
小学生が学校休みがち
どうやら下の弟の面倒をみて
いるのが原因

[リソース]

- ・送迎支援
- ・訪問支援
- ・家児相
- ・子ども食堂
- ・居場所
- ・病院
- ・訪問看護
- ・介護
- ・その他サービス



⑤ 学校と関わる中で思ったこと（1）

- ・ **子どものサインをキャッチできる場所**

- ➡ 子どもの視点からSOSを受けとることができる。

- ・ **「学校のことは学校で対応する」という意識が
学校に根強く残っているのでは…？**

- ➡ ケースワークは多様なチームで 多職種間の連携、役割分担を。

- ➡ 様々な役割を担っている方が地域には数多くいる。

- ➡ 普段から外部と顔の見える関係づくり

⑥ 学校と関わる中で思ったこと（２）

- ・ **学校と地域が連携や情報共有ができるようにするには、一定の仕組みも必要ではないか？**
 - ➡ 子どもたちのことを扱っていくには、学校だけ福祉だけ、地域だけでは解決できない。
 - ➡ ひとり一人のニーズはそれぞれ違う。マニュアルでは対応できない。
 - ➡ 視点はあくまでも子どもたちのために